

題材 「ゴミの行方」 第6時

(1) 学習のねらい

長野市にごみの埋め立て地がない現状を知り、ごみを減らした方がいいと考え始めた子どもたちが、牛乳パックからできたトイレットペーパーに触れることを通して、分別した紙資源がリサイクルされていることに気づき、今日から紙資源について何か自分にできることがないか考えを持つことができる。

(2) 本時の学習材

牛乳パックからできたトイレットペーパー

○紙資源が分別されていることを子どもたちは学んでいる。その紙資源が分別されて、どんな過程を経てリサイクルされているかはまだ知らない。紙資源がリサイクルされてできた商品に何があるか探したいという意識を捉えたところで、本学習材を提示する。

○本学習材によって、毎日給食で飲む牛乳パックや家庭で出される紙資源が、紙資源の特徴に応じて、様々な過程を通じて、リサイクルされ新しい商品に生まれ変わっていることを学び、紙資源のために何か今日からできることがないか考えを持つことが期待される。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 紙資源について問う。	<p>学習問題</p> <p>分別された紙資源は何になっているのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製紙メーカーに行くって書いてあるよ ・それからトイレットペーパーや様々な商品になるって書いてあるよ。 <p>○どうやって紙資源が新しく商品になっているのかな。</p>	5'	<p>○紙資源が分別されていることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが知っていることを挙げさせる。 ・ごみの行方のプリントを開かせる。 <p>○実際にリサイクルされた商品に何があるか問う。</p>
	展開	<p>学習課題</p> <p>紙資源がリサイクルされる過程を知り、私たちが今日からできることを考えよう！</p>	35	<p>学習材</p> <p>牛乳パックからできたトイレットペーパー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して、テレビで牛乳パックからトイレットペーパーができるまでを流す。 <p>・長野市の紙資源が、紙の特徴で分けて収集に出すことを提示する。</p>
終末	2 トイレットペーパーができる過程を写真や動画でみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレットペーパーは牛乳パックがリサイクルされてできるのか。 ・製紙工場では、こんなことをしているのだね。 		<p>評価</p> <p>今日から紙資源について何か自分にできることがないか考えを持つことができたか。（ワークシート、発言）</p>
	3 他の紙資源が何の商品にリサイクルされているか知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の特徴に応じてリサイクルされるものが異なるのだね。 ・紙資源を収集に出すときはしっかり種類に分けなきゃいけないね。 <p>○今日から学校や家でできることはないかな。</p>		
	4 今日から自分にできることを考え、共有する。	<p>○紙は燃やしてしまえばごみだから、燃えるごみに捨てないようにしたい。</p> <p>○種類ごとに分けておくようにしたい。</p> <p>○家でお母さんやお父さん家族に話して、みんなで紙資源を分別したいな。</p>		
	5 振り返り	<p>○他にもリサイクルされるものがないか探したい。</p>	5	<p>○次々につながる問いを持たせる。</p>